

「きれいなまちづくりに向けて~渋谷区における取り組み~」 ナレーション原稿（施策 No.A21）

「きれいなまちづくり」を推進しておりまして、渋谷に来ていただいた方には、きれいな街だなと思っていただきたい。

多くの人が変わることで、先進的で新たな文化とイノベーションが生まれる渋谷区ですが、

その一方でさまざまな社会課題も潜んでいます。

NTT東日本グループは、渋谷区と協力し、課題解決に向けた革新的なアプローチを展開しています。

このまちづくりコーディネートという活動に関しては非常に近年力を入れているところでございます。

NTTグループの持っている長年培ったお客様との関係を生かして、アンテナを高く張って、新しい地域課題を見つけて、それに対してソリューションを用意させていただき、そして 実証・実装という形でご提供させていただくことが重要なことであると考えています

渋谷区が直面している課題として放置自転車の問題が挙げられます。

道路上や駅前に放置された自転車は、歩行者にとって危険な障害物となり、

住民や来街者の安全を妨げていました。

また、放置自転車の検知から撤去するまでの稼働にも課題を抱えており、作業の効率化が求めてられていました。

そこで動いたのが Shibuya Startup Deck（シブヤ スタートアップ デック）。

通称シブデック。

産官連携でスタートアップ企業を支援するシブデックを活用し、渋谷区、伊藤園、NTT 東日本とが連携してエッジ AI カメラを活用した放置自転車の予測モデルの作成に取り組みました。

渋谷区内に設置されている伊藤園の自動販売機に個人情報を取得しないエッジ AI カメラ“ManaCam”（マナカム）を取り付けることで放置自転車が、いつ、どのような場所で発生するのかデータの収集分析を行いました。

その結果、各種エリアごとの傾向がパターンとして見えてきました。

設置した場所に関する この曜日の この時間に多いであったり、天候とか気温に応じて どれくらい増えるのか減るのか、実際の数値による結果と予測モデルを作ることができたのかなど

「安心安全できれいなまちづくり」に向けた課題は放置自転車問題に限りません。
渋谷区では、渋谷駅周辺を中心に、かねてから落書き問題に悩まされていました。

2021年度から区として率先して落書きを消去するという活動を行ってまいりました。
今後はボランティアの方々と一緒になって落書きを消去していこうといったプロジェクトを新しく開始したところになります

これまで電柱の落書きについては所有者である東京電力 NTT 東日本への連絡が必要なため美化活動の効率化を阻害していました。

そこでこの度、東京電力、NTT 東日本は地域の美化活動を効率化、促進することを目的として、「電柱の落書き消去にかかる協定」を締結しました。

これにより、事業者側に確認をせずともボランティアが落書きを消去できる環境を作ることができました。

東京電力と NTT 東日本だからできるユニークなアプローチを今後も進めてまいりたいと思っておりますし、
なんと言っても渋谷は日本を代表する都市でもありますので、この場で積極的に渋谷区とも連携して取り組んでいきたいと思っております。

今回の落書き消去に関する連携協定も、我々が設置させていただいている設備の美化活動をより効率化していく
かということが目的でした。今後もですね、地域の皆様に必要とされる事業者であり続けるために、あらゆる取
組みを推進していきたいと思っております。

インフラ業者同士の協力というところで、必要不可欠な設備を持っている会社同士が連携することによって
より人々の生活を豊かにするような連携ができると考えています

NTT 東日本グループは地域のパートナーとして、ICT を活用した都市型社会課題対策に取り組んでいます。

渋谷にはさまざまな課題がまだまだあるかなと思っていて、NTT 東日本グループは 大企業ならではのリソース
やネットワークだったりというところがあると思うので、なかなか行政だけだとカバーできない部分
をご支援いただければなと思っております。

渋谷区をモデルとしてまちづくりに関する取り組みのさらなる深化とモデルを確立し、
他の自治体へ水平展開を行い、地域循環型社会の共創を目指してまいります。